

問題定義・原因分析・課題設定ワークまとめ ver.3

問題 今あるものが磨かれ誇れる魅力として、市内外に伝える人材が不足している

- ・若い市民の満足度が低い
- ・柏崎市民が柏崎を好きだと自信を持って言えていない
- ・市民が魅力に気づいていない
- ・そもそも柏崎を知らない人が多い
- ・突き抜けた魅力が定まっていない
- ・外の人に柏崎の良さを伝える媒体が少ない
- ・発信が上手くできていない
- ・柏崎のウリにしたいことが分かりづらい
- ・仕事がないと思われている
- ・おもしろい人、モノ、コトはあるのに表に出てこない
- ・恥ずかしがり屋が多い
- ・誇れるものが少ない
- ・観光地が少ない
- ・「〇〇のまち」と言えるような特徴がない、特徴があっても薄い
- ・「鋳物のまち」のほずが認識が薄い
- ・特産品が少ないと自分で言っちゃっている
- ・市民が柏崎を説明する時に「なにもないまち」と言ってしまう
- ・まちの良いものを良いという自覚が薄い
- ・市の魅力を伝える人材が不足している

原因

まちの統一感を出すような情報発信の戦略がない <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の戦略がない。審美眼がない ・ツールが定まっていない ・看板の統一などまちの統一感がある見せ方ができていないのではないか ・市民の声が反映されていない(個別で出てくる魅力) ・春夏秋冬、たくさん柏崎には魅力があるが整理できていない。 	ターゲット別に魅力を打ち出せていない <ul style="list-style-type: none"> ・春夏秋冬、子ども向けの魅力は多いが、高校生以上向けの魅力がやや少ない ・移住者のモデルケースを見せられていない 	柏崎独特の求人情報を把握できていない <ul style="list-style-type: none"> ・仕事について把握ができていない ・求人情報はハローワークの情報で主で、柏崎独特の産業などの求人把握が辛い ・市役所では就職の斡旋ができない 	資源の磨き方、尖らせ方がわからない <ul style="list-style-type: none"> ・諦めている、現状満足している ・発信する意欲が低い ・磨き方がわからない ・誇れるもの=他にないものと思いついていない ・他と違う打ち出し方をせずに、他と違うものばかり探そうとしている
推せる商品、製品が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・特産品が弱い ・最終製品がない 	市が大々的に推していないため、市民が自信を持って提案できない <ul style="list-style-type: none"> ・市が大々的に推していないため、市民が自信を持って提案できない 	まちの魅力を学ぶための教育環境が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・アイデンティティや何を誇りに思うのかを教えてもらっていない ・柏崎には何もないと教育されてきた ・市民が柏崎のことをよく知らない 	柏崎をとことん愛する人の意見を聞く場が少ない <ul style="list-style-type: none"> ・柏崎をとことん愛する人の意見を聞く場が少ない

課題 <ul style="list-style-type: none"> ・何を魅力とするか整理し、統一感をもって戦略的に発信し、移住希望者にとにかく柏崎を知ってもらう 	課題 <ul style="list-style-type: none"> ・柏崎を全国に発信する場をつくる (SNS、マスコミ両面) ・求人情報を魅力的に整理しマッチングを促す ・自分の住むまちに対して、良いところを見つける訓練をする 	課題 <ul style="list-style-type: none"> ・地域で働くリアルな大人との意見交換をする場をつくる ・教育者の認識アップ ・地場産業の発信、雇用の促進 (工場見学) 	課題 <ul style="list-style-type: none"> ・既存のもの、場所でひとまず設定してみる
---	--	---	--

問題 他市町村との比較分析、差別化ができていない

- ・他市と比べて子育て支援内容が分からない
- ・他市との比較分析ができていない (守りの姿勢)
- ・他の県内のまちとの差別化が弱い
- ・地域の差別化が明示されていない

原因

今までそういった議論や危機感が少なかった <ul style="list-style-type: none"> ・移住施策に対して他市を上回ろうという観点がなかったのではないかと ・これまでそういった議論、危機感が少なかった ・市がプライドを持っている 	重視されるポイントが整理されていない <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援、住宅支援、就職斡旋など、移住希望者が重視するポイントが整理されておらず比較分析する対象がなかった 	ある一定の支援制度に留まっている <ul style="list-style-type: none"> ・移住者に対し、既に一応の支援制度はあるので、比較分析までには至らなかった 	海に、花火に、こだわりすぎている <ul style="list-style-type: none"> ・海に、花火に、こだわりすぎている
--	---	---	---

課題	課題 <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援制度について他市と比較分析を行い、より効果的でインパクトのある支援制度を検討する 	課題	課題
-----------	---	-----------	-----------

問題 人との繋がりが薄く、移住者の入り口となるコミュニティも少ない

- ・移住者のコミュニティが少ない
- ・コミュニティが少ない、小さい、目立たない
- ・プライベートのコミュニティが少ない
- ・地域教育の不足、地域との繋がりが薄い
- ・地域で子供の関わりが弱くなってきている（祭りなど）

問題 地域ごとの関わりがなく、閉鎖的である

- ・地域ごとの関わりがない
- ・内輪ノリ、プライド高い、閉鎖的

原因

<p>移住者への関心が低く、歓迎する空気感がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者に寄り添う姿勢がなかった ・移住者が少ないため、注目されてこなかった ・市民の多くがそこまで移住してほしいとは思ってこなかった ・Uターンを大歓迎しているという空気感がない 	<p>移住者のニーズを把握できていない、作り方が分からない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住希望者のニーズを把握してこなかった ・SNSで繋がれる時代のため、実際に会うコミュニティが求められなかった ・これまで移住希望者に対する満足度をあげることに本気で取り組んでこなかった ・日常生活には困らない環境のため、移住者からのSOSが無い ・家族の都合や仕事など、柏崎を楽しむ目的で移住してきた人が少ない。情報収集に積極的ではない ・人との繋がりが重要になってきているが、どうやってコミュニティを作ったらいいかわからない 	<p>コミュニティの中心となる人物がいない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーがいないため、事業を企画する人がいない ・移住希望者のコミュニティの窓口を手をあげる人がいなかった ・趣味に没頭している人が少ない ・共感できるリーダーの存在 ・既存の地域コミュニティを把握しきれていない 	<p>時間の使い方が悪い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大人ももっとスポーツしないと（コミュニティとしてはGoodなのに） ・ワークライフバランス、上手な使い方 <p>場の選択が少ない、行きづらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ拠点が分からない、または行きづらい ・夜間活動できる場が少ない
---	---	--	---

原因

<p>内輪で盛り上がりすぎてそれなりに楽しんでいる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内輪で盛り上がりすぎてそれなりに楽しいため 	<p>地域ごとに物理的な距離がある</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ごとに少し物理的な距離があるため 	<p>中心部に地域全体の会議が集中している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の会議などが中央地区に集中しているため 	
---	--	---	--

課題

- ・移住者が情報発信をできるサイトやSNSを作り、移住者同士の交流を促す
- ・移住者が情報を得るための最初の窓口を作る（特典付き、場所、サイト、SNS、窓口の形は何でも）

課題

- ・移住者が情報発信できるサイトやSNSを作り、移住者同士の交流を促す
- ・移住者が情報を得るための最初の窓口を作る（特典付き、場所、サイト、SNS、窓口等）
- ・色々なカテゴリーの掲示板みたいなものをつくる

課題

- ・リーダーを募集し、新規事業に対して市の支援で応援する
- ・青柳さん帰ってきてほしい
- ・既存の地域コミュニティを整理、私たちが移住希望者の窓口となり移住者を歓迎する

課題

- ・年配層と子育て世代の交流がコミセンなどを活用してもっと増える

課題

課題

- ・全体の会議を様々な地域で行って、地域間交流を増やし、柏崎全体の課題を議論する

課題

課題

問題 住まいの選択肢が少なく、移住したい人に適切な情報が伝わっていない

- ・移住したい人に適切な情報が伝わっていない
- ・住まいの選択肢が少ない

問題 仕事の選択肢が少ないが、求人はたくさん出ている

- ・仕事の選択肢がない（作ることもできていない、少ない）
- ・働く場所がないと言われるが、求人はたくさん出ている

原因

ニーズに沿った住まいを企画する人がいない

- ・リーダーがいないため、事業を企画する人がいない

UI ターン向けに不動産情報が整理されていない

- ・情報が少ない
- ・空き家バンク制度が機能しているようにみえない
- ・UI ターン者向けの不動産情報が整理されていない

ニーズに応じた住まいのサポートが少ない

- ・UI ターン者のニーズに応じた住まいのサポートが少ない
- ・助成金など、補助制度が少ない

原因

情報の適切な整理・発信ができていないため、多くのミスマッチが起きている

- ・求人内容とやりたい仕事とのミスマッチ
- ・希望する給与とのミスマッチ
- ・探し方、口コミ、知人の紹介などのあと一押しが足りない

課題

- ・リーダーを募集し、新規事業に対して市の支援で応援する

課題

- ・空き家バンク含め、様々なニーズに応じたUI ターン者への不動産情報の提供体制を整える

課題

- ・生活や働き方が多様化する現代で、暮らす人のニーズに沿った住まいを提案できるような情報発信を行う（定住者のライフスタイルを知り、移住を具体的にイメージできる）
- ・定住者のライフスタイルを集める中で、すでにシェアハウスや古民家暮らしなどしている人を発見する

課題

- ・リモートワークを推奨する企業との提携（助成金もあり）
- ・仕事のマッチングの場をつくる（法律の範囲内で）

課題

課題

課題

問題 特に困っていないから現状維持でいること

- ・意味のない場所がない
- ・諦めている
- ・保守的、現状維持

問題 貧困層が増え、暮らしの満足度が低い

- ・共働家族支援（貧困層が増えており、そもそも満足度の前段階）
- ・貧困層の増加

原因

<p>今の柏崎には必要ないと思っており、主体性も低い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・欲がない ・新潟市や長岡市にあるから、柏崎には必要ないと思っている ・「どうせ柏崎には何もない、誰もいない」と諦めている 		<p>個人単位での影響を認識できていない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データに基づく現状（危機的な状況）を認識できていない ・市の人口が減っても個人単位では困らないという感覚があり特に興味がない ・なぜ移住定住が必要か、市民が理解しのみこめていない ・柏崎の人口が増えるとどのようなメリットがあるか説明できていない 	
--	--	---	--

原因

<p>一人親家族が多い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離婚者が多い ・シングルファザー、シングルマザーでも働きやすい支援、シェア共働の仕組み 	<p>賃金が低く、仕事の選択肢も少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できる仕事が少ない ・賃金が低い ・物価の上昇 		
---	--	--	--

課題

- ・柏崎市内外の人たちが柏崎の魅力に気づき、自ら盛り上げ発信したくなる仕組みをつくる
- ・新潟市、長岡市など近郊にある楽しいことも、自分たちでもできるということを知る。楽しいことをしている人たちのリアルを知ってみる
- ・柏崎には「面白いコト、ヒトがいる」と知ってもらう

課題

- ・人口減少のリアルなデータを発信する（情報の見える化）
- ・人口増加による市民へのプラス要因、人口減少によるマイナス要因を整理し、移住定住への機運を高める

課題

課題

- ・シングルでも働きやすい支援、シェア

課題

- ・多様な働き方や仕事のマッチング支援
- ・賃金の引き上げ

課題

課題

問題 支え合いの仕組み、シェア文化がない

- ・共生情報のシェア不足
(助け合いがオープンになっていない)

問題 新しいチャレンジが少なく、ムーブメントが起こりづらい

- ・新しいチャレンジをする人が少ない
- ・チャレンジする人がいても気づかない
- ・大きなムーブメントが起こりづらい (まとまらない、つぶされる)

問題 新しい技術が何も導入されていない

- ・新しい技術が何も導入されていない
(自動運転、ドローン宅配、IoTモノのインターネット)

原因

<p>柏崎の資源がうまく循環していない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柏崎の資源がうまく循環していない 			
---	--	--	--

原因

<p>プレイヤーが少ない、まだ育ってない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレイヤーが少ない、まだ育ってない 	<p>高齢層に権限が偏っており、若年層への投資が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢=役職、将来のまちについて考えているのか ・お金の使い方 (なぜこれにこんなに使う?なぜこんなにケチケチする?配分、投資)
---	---

原因

<p>アーリーアダプターが官民ともに不足している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政が関心がない (切羽詰まっていない) ・仕事が、産業が、アップデートされていない 	
---	--

課題

<ul style="list-style-type: none"> ・まちに余っている資源を上手に循環させる。シェアする。 			
---	--	--	--

課題

	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人が実行する場づくり (お飾りではなく、具体的な権限、予算)
--	---

課題

<ul style="list-style-type: none"> ・新しい技術が入って来やすいようにサポートする 	
---	--

問題 **結婚しない人が増え、少子化している**

- ・少子化が進み、学校が少なくなっている
- ・結婚しない

問題 **学力・文化度が低下している**

- ・学力の低下（担い手がさらに流出している）
- ・文化度の低下

原因

<p>知識が不足している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間の体の出産適齢期を学んでいない ・女性と男性が対等に働くことの素晴らしさは説かれても、女性にしかできない出産という働きについてはあまり教育されていない 	<p>価値観が変化、多様化している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博愛、同愛、フラタニティ社会に移行してきている（脱恋愛、脱家族、脱組織） ・なんでも自由でいい。本人の気持ち次第といった未来が若い人の中でイメージできない ・今までは個の競争の時代であったが、出世（競争）を望まない若い優秀な女性が増えてきている。そういった女性は自分が有用だとそのコミュニティで認められれば仕事を選ぶ ・恋愛をするよりも今の人間関係（友達関係）を重視する人が増えてきた ・今までの家族の在り方に捉われない人が増えてきた ・結婚は面倒臭いとテレビなどで刷り込まれている ・結婚することで自分の自由が犠牲になるとなんとなく思っている 	<p>婚活する人は条件で人を見すぎている</p> <ul style="list-style-type: none"> ・婚活する人は条件で人を見すぎている
		<p>暮らしに余裕がない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給与が安いので、結婚することに躊躇する ・結婚できる余裕がない（生活、金銭）

原因

--	--	--	--

課題

課題

- ・多様な生き方を尊重した上で、思考停止にならないようにどういった人生を歩みたいのかをもっとイメージする早期教育が必要

課題

- ・地域の賃金を底上げする

課題

- ・小さい学校だからできる学力アップ支援（東大生の家庭教師、先生の誘導）
- ・教育のあり方を考え直す
- ・小学生のうちから部活動、クラブ活動の時間を使って、やりたい仕事で職場体験にいくつもいく
- ・ルームシェア、保育士や家政婦（夫）さんが在住する共有スペースの提供

課題

課題